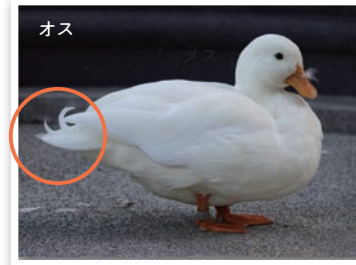


オスとメスの見分け方

コールダックは別名「ナキアヒル」と呼ばれるように、大きな鳴き声
が特徴的な、世界最小のアヒルの仲間です。オスとメスはよく似た外見
をしていますが、尾羽で見分けることができます。メスの尾羽はまっす
ぐなに対し、オスの尾羽は数本が上向きにカールしています。



ただ、年に一度の羽のはえ換わりの時期にはカールした尾羽が
抜け落ちることもあります。そんな時は鳴き声に注目。より甲高い大きな声で鳴いている方がメスです。

水面でパクっ！アカハライモリ

水の中のアカハライモリを観察していると、水草の陰でじっとしていたり、エサを探して歩き回ったりする様子が
見られます。数分水槽の先にいけば、尾を振って水面まで泳ぎ
パクッと空気を食べるような行動が見られることも。これは
アカハライモリの息継ぎ。おとなのイモリは肺と皮膚で呼吸
をし、陸と水中を行き来する暮らしをしています。



- 1 カピバラ
- 2 マーラ
- 3 コールダック
- 4 アカハライモリ

公式サイト、東京ズーネットでも最新情報をご覧いただけます。
東京ズーネット TOKYO ZOO NET
<https://www.tokyo-zoo.net/>



公式 SNS やってます！
文化園の最新情報を発信しています。



飼育係からのお便り



園内で見られる動物について飼育係がアピールします！

お熱いのがお好き？

ゆったり温泉につかる姿をイメージされること多いカピバラ。
でもそれは動物園でのなし。野生では温泉ではなく南米の池沼
や川などでくらすしています。熱帯でくらすカピバラにとって低い
水温は体を冷やすにも好都合。寒い日本の冬に温泉で温まるのとは逆ですね。
当園のカピバラたちのプールは冬でも真水ですが、気温が穏やかな日はアクティブに泳ぐ姿が見られます。



泳ぐカピバラ

マーラってなんだ？



マーラ

マーラを見た来園者の方の多くは、「この動物はなに？」と疑問に思われるようです。マーラは、モルモットやカピバラと同じテンジクネズミ科の動物です。言われてみると、顔立ちがカピバラと似ているようにも見えませんか？
野生のマーラがくらす場所は、大きな木が少ないひらけた草原で、かくれる場所がありません。アンバランスにも見える細くて長い脚は、長距離を速く走り、天敵から逃れるのに役立ちます。また、子育てを地面に掘った巣穴で行なうため穴掘りが得意。当園でも放飼場にマーラが掘った大きな穴を見ることができます。

「文化園」という名称

当園の名称は「井の頭動物園」ではなく「井の頭自然文化園」です。なぜ「動物園」ではないのでしょうか。残念ながら明確な理由はわかっていません。当園は自然を科学する精神を涵養するために動植物園、水族館、資料館を統合した「自然生態観察園」として1942年に開園しました。当時の「文化」には「教養」という意味があります。「動物園」という枠をこえた園にするのの想いから「文化園」とつけられたのではないのでしょうか。

※ 涵養：自然に水がしみこむように徐々に養い育てること



開園当時の正門前

文化園 80年のあゆみ



アカハライモリ

英名 Japanese Newt

学名 *Cynops pyrrhogaster*

分類 有尾目イモリ科